

## (2) ホームページの作成

校内研修における遠隔研修の可能性のうち、ここでは、ホームページの作成を従来型のテキストを活用した研修と遠隔研修として行ったものについて述べる。

### ア ホームページの作成教材の基本的な考え方

本研究の「第1集」のまとめでは、「児童生徒に身に付けさせたい力 - 情報を正しく判断・批判できる力」、「ホームページで情報を検索・収集し、ワープロソフトでまとめ、プレゼンテーションソフトで発表できる力」さらには、「教職員として身に付けたい力 - ホームページの作成と発信、プレゼンテーションソフトによる発表」とあり、ホームページによる情報検索や情報発信についての研修意欲が高いことが分かる。また、ホームページの作成については、自校の情報発信といったことに加えて学習指導面では、ホームページの閲覧や検索などでリンク集を教職員が事前に作成し、児童生徒の学習効果を高めるための教材として活用する方法等がある。

そこで、ホームページ作成のための研修を研究協力校で実施することにした。

使用するソフトについては、一般的にホームページ作成の専用ソフトを用いると比較的に作成できるが、次のような理由から、学校で普及率の高いワープロソフトを用いたホームページ作成の研修とした。

- ・ソフトウェアとしての基本的な使用方法を新たに学ぶ必要がなく、教職員のホームページ作成へのハードルが低くなると考えられる。
- ・学校では、ワープロソフトは多数整備されているので、日常的な作成・更新作業が容易であると想定される。

### イ テキスト教材の構成と概要

このテキストでは、ワープロソフトMicrosoft Word 2000（以下、「Word」又は「ワード」と略記する。）を使って簡単なホームページを作成する手順を解説した。テキストは、初めてホームページを作成する者を対象にしているが、このテキスト終了後には、発展的に学級のホームページ作成などに応用できる内容とした。

具体的には、次の基本操作を習得することを目標とした。

- ホームページに文字を入力し、装飾することができる。
- ホームページにイラストを挿入し、背景を付けることができる。
- ハイパーリンクを設定することができる。
- ホームページとして保存することができる。

構成は、以下のような9章構成とし、具体的に次のように記述した。

## はじめに

ホームページ作成の一例として授業で活用できる次のようなページを作成してみましょう。

授業でインターネットを活用するときに、実際上大変なのが、児童生徒が目的とするホームページをなかなか探せないことです。そこで、その授業で活用できるホームページにマウスのクリックだけでジャンプできるページを作成してみましょう。この作成手順を応用すれば学校のホームページも作成できるようになります。

作成するのは、次の「ようこそ 算数・数学のページへ！」と表題を付けた算数・数学の授業での活用を前提としたページです。使用するのは、ワープロソフトだけです。

(次の1 - 7の詳細は略す。)

- 1 ワープロソフト (Word) の起動方法
- 2 ホームページ作成のモードへの切り替え方法
- 3 文字の入力
- 4 文字の中央揃え
- 5 文字を拡大したり飾り付けの方法
- 6 画像の挿入方法
- 7 背景のつけ方
- 8 ハイパーリンクの設定方法



ハイパーリンクとは、画面上の文字や絵などをマウスでクリックすると、関連付けられたページへジャンプするしくみのことをいいます。このハイパーリンク先に目的のホームページなどを設定することにより簡単にインターネットによるホームページの閲覧ができるようになります。

最初にハイパーリンクを設定する文字列を、クリックとドラッグによって反転表示させます。(例では「中学数学の基本問題」)

次に「挿入」「ハイパーリンク」を選びます。

次に「ファイル名またはWebページ名」を入力します。

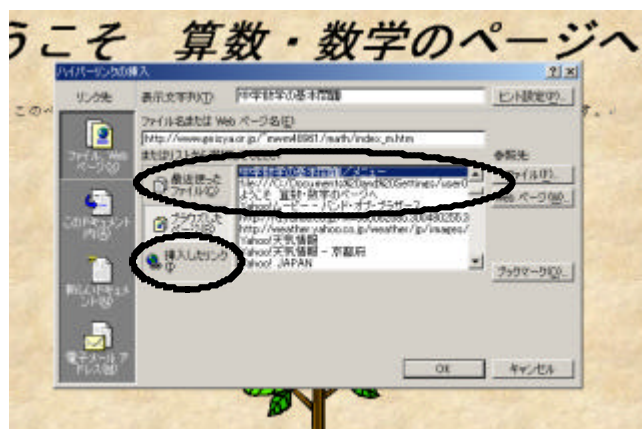
このとき、目的のホームページのURL (ホームページのアドレス) を直接入力してもかまいませんが、非常に長いアドレスになる場合は、入力が大変になります。そこで、画面の「ブラウズしたページ」をクリックすると最近閲覧したホームページの一覧が表示されますので、それをクリックすると簡単にURLを入力することができます。ただし、事前に目的のホームページをブラウザ



で開いておく必要があります。

入力が確認できたら、最後に「OK」をクリックすると完成です。完成すると、文字列が青になり、アンダーラインが付きます。

同様の手順で、「小学校の基本問題」にもハイパーリンクを設定します。



#### 9 ホームページとしての保存の仕方。(以下略)

### ウ 研修結果（アンケート調査結果含む）と課題

本テキストを用いた校内研修では、最終的に各学級担任が学年のホームページを作成することを目標として実施された。結果として、学年のホームページを作成することができ、アンケート調査したところ、次のように概ね良好な結果を得た。

#### （テキストの内容についてよかったと思うこと）

- ・図が多くあって分かりやすかった。
- ・初心者にも分かりやすい内容だった。
- ・分かりやすくてよかった。(3)
- ・画面の写真も入っている横に説明があるので、分かりやすかった。
- ・画像を取り入れて、基本的な操作を分かりやすく説明されている。
- ・本当に最小限のことが説明されていて、シンプルでよかった。
- ・画面表示に従って、ホームページを作成していったので、分かりやすかった。
- ・実践的である。
- ・ワープロに苦手な私でもやれそうに思えました。分かりよかったです。
- ・ワードの基礎操作からホームページ作りへの操作への展開していますので、初心者でもある程度のホームページは完成することができる。
- ・前半の実際に書類（ファイル）を作りながらの説明は大変分かりやすい。

#### （テキストの内容について改善した方がよいと思うこと）

- ・ハイパーリンクの内容でホーム上での移動。
- ・ホームに戻るやり方などもあればよかった。
- ・能力的にもう少し上の者が取り組める内容も付け加えて欲しい。
- ・カラーだったらもっといいと思いました。(3)
- ・ハイパーリンクの説明をもう少し、詳しく書いて欲しい。ここでは、ホームページへのリンクのみだが、ページへのリンクの説明が欲しい。
- ・今回のねらいには、自分の学年のホームページ作成があげられてますので、リンク先へのジャンプは必要なく、他へのページへのジャンプがふさわしいと思う。(2)
- ・実際のホームページには画像を扱うことが多い。いろいろなデジカメを使うのでホームページには、画像ファイルが重すぎる。ファイルを小さくする操作について扱っておいの方がいいと感じた。

(その他)

- ・ 普段あまり使われないところの機能が分かってよかった。
- ・ テキストどおりにするのはできましたが、自分で作ろうとするととても難しくて苦労した。
- ・ 単純だが初めて作るホームページの解説テキストとしてよくできている。
- ・ 写真や絵の入れ方も教えてもらい、よいホームページができて満足しました。
- ・ どの学年もよいホームページが完成していたので、驚きました。
- ・ ふだん使い慣れているワープロソフトでホームページが作れるということは、気軽にできてとてもよいと思いました。
- ・ HTMLの仕組みなど少し紹介していただくとより分かりやすくなると感じました。

研修後には、初心者（初めてホームページを作成）であってもホームページが完成した。この要因としては、次のことが考えられる。

パソコンを使い慣れていない者でも、ワープロソフトの活用は比較的簡単であったこと。パソコンに比較的なじみのない者でも、ワープロソフトについては、いわゆる「ワープロ専用機」も含めて、学校には浸透しており、ワープロソフトを使うことについては、抵抗感が少ないことが考えられる。

さらに、ホームページとしての最小限の機能として、

- ・ 文字の入力と装飾の方法
- ・ 背景の設定と画像の挿入
- ・ ハイパーリンクの設定
- ・ ホームページとしての保存の方法

の4点が考えられるが、この機能は技術的にも比較的簡単なレベルで作成できることも要因であると想定される。

テキストをビジュアルにしたこと。

いわゆるスキル系のテキストについては、文字を追うことよりも実際に画面を見て操作する内容が多いので、極力文字数を減らした構成にした。これによって受講者からは、テキストについての好評を得ている。

比較的短時間で完成する内容であった。

ホームページ作成というと、一般的に難解な内容を想定してしまう場合が多いが、今回は、ホームページの基本機能に絞った内容にしたので、逆に容易な内容となりワープロソフトの効果と相まって受講者はホームページの完成を短時間で成し遂げている。

自習形式のテキストとしたこと。

このテキストの構成は、講師が説明し内容を進めることと、指導者がいなくても学習者が各自のペースで独学できるスタイルも盛り込んでいる。パソコン研修の実習の場合、受講者が自分のペースで進める場面が多いので、この形式が効果を上げたと考えられる。

【研修後、実際に作成されて、サーバーにアップされているホームページの一例】



エ 遠隔研修の教材の構成と概要

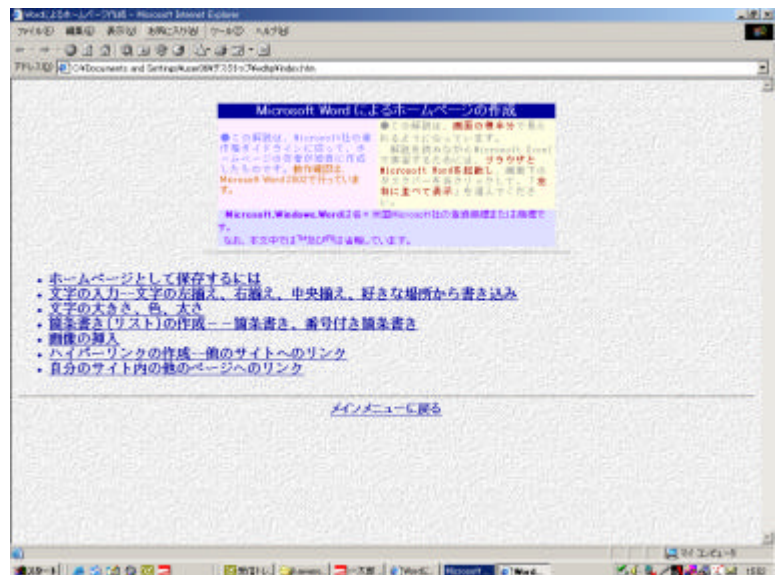
次に同じ題材であるホームページ作成のための遠隔研修システムの構成を述べる。

このシステムでは、受講者が自分のペースでホームページを作成できるまでの教材とし、次のような構成とした。

- 1 ホームページとして保存するには
- 2 文字の入力 - 文字の左揃え、右揃え、中央揃え、好きな場所から書き込み
- 3 文字の大きさ、色、太さ
- 4 箇条書き(リスト)の作成 - 箇条書き、番号付き箇条書き
- 5 画像の挿入
- 6 ハイパーリンクの作成 - 他のサイトへのリンク
- 7 自分のサイト内の他のページへのリンク

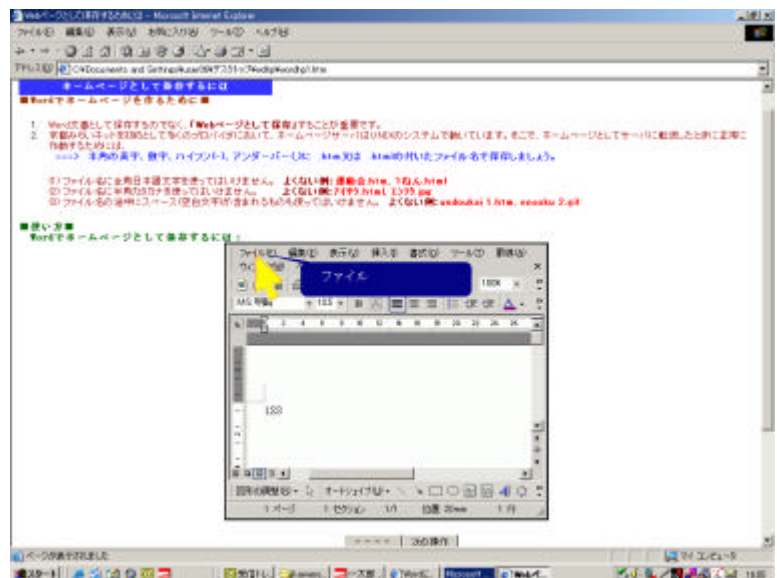


基本的な構成は、テキスト型と同様とし、受講者は上記の教材構成が表示されたメニュー内容から選択して、学習を進め、すべての学習が終了した後は、メニューから各自が復習などを必要とした事柄を選択できるスタイルとした。次にこの教材の構成を説明する。



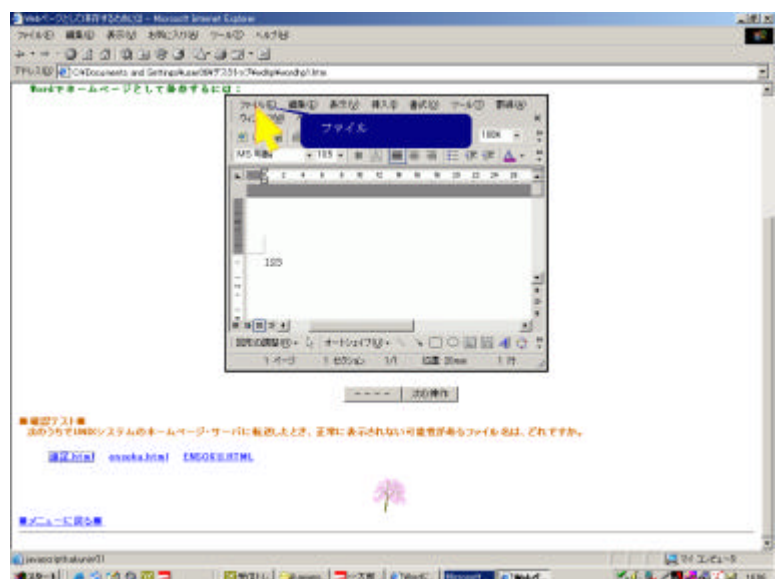
【メニュー画面】

次の画面は、「1 ホームページとして保存するには」の章であるが、保存についての必要最小限の項目を説明し、具体的操作の説明には、「次の操作」ボタンを押すことによって、画面上にアニメーションで表示される仕組みとした。



### オ 研修の自己評価

この教材では、章毎に確認テストを設けて受講者自信が評価を可能とした。ただし、各章の内容が簡潔な構成としたことから、簡単なものとした。



## カ 研修結果（アンケート調査結果含む）と課題

このホームページ型教材を用いた校内研修では、テキストを用いた場合と同様に次のように概ね良好な結果を得た。

### （ホームページ教材についてよかったと思うこと）

- ・画面のボタンを押すと次の操作説明がでてくるので分かりやすかったです。
- ・本当に最小限のことが説明されていて、よかった。
- ・確認テストでよく復習ができました。
- ・図が多くあって分かりやすかった。
- ・実践的でした。
- ・分かりやすくてよかった。（５）
- ・画面の写真も入っている横に説明があるので、分かりやすかった。

### （ホームページ教材について改善した方がよいと思うこと）

- ・自作画像の取り込みを詳しく解説していただければよかったと思います。
- ・画面分割などについても教材の中に入れて頂きたいです。
- ・ホームに戻るやり方なども有ればよかった。
- ・ハイパーリンクの説明をもう少し、詳しく書いて欲しい。

### （その他）

- ・ふだん使い慣れているワープロソフトでホームページが作れることに感動しました。

受講者の感想は概ね次のようにまとめることができる。

- ・教員自らが必要とする技能等を効率的に習得するには、遠隔研修は効果的である。
- ・遠隔研修は、時間等の制約がないので教員自身のペースで研修が可能である。
- ・遠隔研修では、教材の制作者が予期しない質問等に対しては、近くに指導者がいないので、対応ができない。
- ・従来型であっても適切なテキストがあれば、ある程度の研修効果が期待できる。
- ・いずれの研修形態でもコースが決まってしまうので、もう少し詳しく学習したいなどの場面に  
対応が難しい。

今回の結果から、従来型のテキスト形式の研修でもその内容を整理することにより、ある程度の成果を期待することができると考えられる。しかし、自習形式のテキストであっても指導者が必要とされる場面もある。また、遠隔研修では、個に応じた研修が可能であるが、研修に必要とされる時間の確保や発展的研修などに課題が残る。

そこで校内研修は、自校の教職員のスキルのレベルや学校目標などを鑑みて、テキストを用いた従来型一斉研修と遠隔研修を組み合わせることにより効果的な研修が期待できるものと考察される。